

2017 年度課題研究会活動成果報告書

課題研究会名：歯科医療情報における交換・連携に関する研究会

設置期間：2015 年 6 月～2019 年 3 月

代表幹事の氏名・所属：玉川裕夫・大阪大学歯学部附属病院

幹事の氏名・所属：齋藤 孝親・日本大学松戸歯学部

佐々木好幸・東京医科歯科大学

鈴木 一郎・新潟大学医歯学総合病院地域保健医療推進部

永松 浩・九州歯科大学総合診療学分野

森本 徳明・矯正歯科森本

活動成果の概要：

課題研究会では、歯科領域の標準化を課題とした活動を継続しており、厚生労働省で検討中の”口腔診査情報標準コード”の策定に貢献している。

その一環として、2017 年 11 月 22 日、第 37 回医療情報学連合大会（グランキューブ大阪）で、共同企画 5”地域包括ケア時代の多職種連携に必要な歯科情報とはどのように共有し活用するのか”を、日本歯科医療管理学会と開催した。

この共同企画では、多職種連携で医科側が必要としている診療情報に焦点をあて、厚生労働省医政局歯科保健課、日本医師会 ORCA 管理機構株式会社、社会福祉法人聖母会聖母病院、臼杵市医師会、そして日本歯科医療管理学会の関係者から、現場で必要とされる内容について、現状と課題を提示していただき、参加者とディスカッションを行った。

また、同連合大会の公募企画シンポジウムとして、”地域包括ケア時代に歯科の情報連携はどうあるべきか”を当研究会でオーガナイズした。

この公募企画では、h-Anshin むこねっと（はんしんむこねっと）」と口腔がん検診の先行例をもとに、日本歯科医師会から個人情報保護に関する考え方と、医療情報連携についての考え方が示された。

さらに、2018 年 2 月 1 日に開催の平成 29 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議（大津）では、”病院の情報連携基盤を医科歯科多職種連携に活かす”と題した歯科セッションを開催した。

大学病院での多職種連携から地域連携までをテーマとし、情報機器を活用した連携

についても話題提供がなされた。この協議会では、歯科診療録に焦点をあて、電子診療録としての運用事例、医科との連携、紹介状機能など病診連携の可能性を含めて情報共有を行った。同時に、特定共同指導で歯科医療情報システム全般に関する指導内容をもとに、歯科の電子カルテおよび電子化がどのような方向に進むべきなのか、参加者との議論を展開している。

資料 1. (第 37 回医療情報学連合大会共同企画詳細抄録)

資料 2. (口腔診査情報標準コード仕様 Ver.1.0、厚生労働省、平成 29 年 3 月 14 日版)
<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000145590.pdf>

資料 3. (第 37 回医療情報学連合大会ワークショップ詳細抄録)

資料 4. (平成 29 年度 大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録)

活動成果の発表 (文献のリストを記載する形式で記載):

[雑誌論文] 計 (9) 件

- ①地域包括ケア時代の多職種連携に必要な歯科情報とは—どのように共有し活用するのか—、玉川裕夫他、医療情報学 37 (Suppl.)、105、2017.
- ②地域包括ケア時代の多職種連携に必要な歯科情報とは—歯科保健行政の視点から—、山口聖士 (厚生労働省医政局歯科保健課)、医療情報学 37 (Suppl.)、106-107、2017.
- ③地域包括ケア時代の多職種連携に必要な歯科情報とは—生涯保健情報統合基盤の視点から—、伊藤伸昭 (日本医師会 ORCA 管理機構株式会社)、医療情報学 37 (Suppl.)、108-110、2017.
- ④地域包括ケア時代の多職種連携に必要な歯科情報とは—口腔ケアを行う急性期病院の看護師の立場から—、荒木佳子 (社会福祉法人聖母会聖母病院)、医療情報学 37 (Suppl.)、111-112、2017.
- ⑤地域包括ケア時代の多職種連携に必要な歯科情報とは—地域医療ネットワークを運用してきた医師の視点から—、舛友一洋 (臼杵市医師会立コスモス病院)、医療情報学 37 (Suppl.)、113-114、2017.
- ⑥地域包括ケア時代の多職種連携に必要な歯科情報とは—歯科医療管理学の視点から—、白玉清司 (日本歯科医療管理学会会長)、医療情報学 37 (Suppl.)、115-116、2017.
- ⑦二つの ICT 医療連携システム「h-Anshin むこねっと (はんしんむこねっと)」と口腔がん検診「NAVI システム」に参加して見えてきたこと、重岡 潔他 (尼崎市歯科医師会)、医療情報学 37 (Suppl.)、247-250、2017.
- ⑧日本歯科医師会の個人情報保護に関する考え方、神田 貢 (日本歯科医師会歯科医

療 IT 化検討委員会委員長)、医療情報学 37 (Suppl.)、251-252、2017.

- ⑨歯科医療機関における医療情報連携について、杉山茂夫(日本歯科医師会常務理事)、医療情報学 37 (Suppl.)、253-254、2017.

[学会発表] 計 (3) 件

- ①北海道大学病院における医科歯科、他職種連携等に関する取り組み、伊藤 豊、平成 29 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議、2018、旭川。
- ②院内の診療科間から院外の医療機関間での多職種連携へー医療ネットワーク岡山 晴れやかネットでの連携の理想と課題ー、高柴正悟他、平成 29 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議、2018、旭川。
- ③Join を利用した病院歯科間連携、小神順也他、平成 29 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議、2018、旭川。

[その他] 計 (2) 件

- ①平成 29 年度厚生労働省委託事業 歯科情報の利活用および標準化普及事業報告書、公益社団法人日本歯科医師会、平成 30 年 3 月発行。
- ②口腔診査情報標準コード仕様 Ver.1.0、日本歯科医師会、平成 29 年 11 月 17 日版。